

平成 30 年 4 月 17 日

若手研究者海外挑戦プログラム報告書

独立行政法人 日本学術振興会 理事長 殿

受付番号 201780012

氏名 い 泉 寛 史

(氏名は必ず自署すること)

若手研究者海外挑戦プログラムによる派遣を終了しましたので、下記のとおり報告いたします。
なお、下記記載の内容については相違ありません。

記

1. 派遣先：都市名 ハイデルベルク (国名 ドイツ)
2. 研究課題名 (和文)： 主観的国際法における「客観性」—19世紀末ドイツの国際法論—
3. 派遣期間： 平成 29 年 12 月 17 日 ~ 平成 30 年 4 月 1 日 (106 日間)
4. 受入機関名・部局名： マックス・プランク比較公法・国際法研究所
5. 派遣先で従事した研究内容と研究状況 (1/2 ページ程度を目安に記入すること)

国際法学における合意主義理論の形成過程を解明し、その意味するところを同定することを目的とする本研究は、「国家の主観的な意思に基づく国際法をどのようにして客観的な法として構想するのか」という 19 世紀後半の国際法学者の間で共有されていた問題意識とそれに対する理論的な回答を明らかにするために、主として 19 世紀末のドイツの国際法論という文脈に焦点を当てるものであった。具体的には、客観的な国際法の存在を理論的に提示しようと試みた代表的な論者としてイエリネク (G. Jellinek) 及びトリーペル (H. Triepel) の国際法論に着目し、彼らの著作における議論の検討を試みるものであった。

研究状況としては、派遣先において、まずは彼らの著作 (関連する論考も含む。) を同定し、資料収集を行った後に、各著作の分析を進めた。その結果として、本研究の主題に関連する彼らの著作すべてを検討することができた。さらに、彼らの議論をより深く理解するために、同時代に公表された関連する諸著作や先行研究を収集し、分析することができた。

以上から、申請時に立案していた派遣先における研究計画について、その全行程を予定通りに終えることができたといえる。

6. 研究成果発表等の見通し及び今後の研究計画の方向性 (1/2 ページ程度を目安に記入すること)

上記の研究成果の一部については、本年 9 月に英国・マンチェスターにおいて開催される第 14 回欧州国際法学会 (European Society of International Law) 年次大会において口頭報告を行うことが確定している。本口頭報告は論文として公刊することを前提とされているため、報告に対して得られるであろうフィードバックを反映することで研究の質を向上させたものを、関連する学術雑誌において公表する予定である。また、研究成果の残部については、本年 5 月の世界法若手研究会及び同 9 月の九州国際法学会において口頭で報告を行い、質疑応答等を通して得られたフィードバックをもとに内容を改善させたものを関連雑誌において公表する予定である。

今後の研究計画の方向性については、滞在先の受入教員や研究員との議論を通して本研究の意義がより一層明確なものとなったため、同時代における関連する議論との関係を中心に、さらに分析を進めていくこととしたい。また、自らと同様の研究関心を有する、派遣先で出会った数名の研究者との共同研究を進める計画が進行しているため、かかる計画をより具体化する作業も進めていきたいと考えている。

7. 本プログラムに採用されたことで得られたこと (1/2 ページ程度を目安に記入すること)

本プログラムに採用いただいたことで得られたこととして、以下の諸点が挙げられる。

まずは、海外の研究機関で一定期間に亘って研究に取り組むことができたという点である。派遣先の受入教員から受けた研究指導、自身と同様に博士課程に在籍している院生や客員研究員と交わした活発な議論等、国内における研究遂行のみでは得られないような経験が今回の滞在を通して可能となった。

この点に関連して、自身の研究課題の国際的な位置づけをより明確に把握することができたと考えられる。例えば、自らが理解可能な言語以外でなされている研究の状況を、同様に客員研究員として滞在している他の研究員から聞くことができたという点や、一見関連性を有さないような研究についても、他国の学界における議論状況においてみられるような異なる観点からの評価に接することで、自らの研究との関連性を見出すこともできた。

さらに、様々な国から集まっている多くの研究者と日常的に接する機会を得ることができたため、そこから、自らの研究遂行のみでなく、研究者として研究に向き合う態度や社会との関係等についての多様な見解に接することができ、今後のキャリアパス等を考える上での良い機会となった。